

製品/サービス規約

本製品/サービス規約は、弊社のプラットフォームまたはウェブサイトを通じてアクセスする特定の製品、または注文書や業務明細書、その他の注文書類（総称して「注文書」）に別途明示されている特定の製品に適用され、弊社の全製品に適用される Clarivate の規約を補足するものです。以下に含まれていない製品を注文するかアクセスした場合、当該製品/サービス規約はその注文には適用されません。「弊社」「弊社の」および「Clarivate」は、注文書に記載されている Clarivate 組織を指し、「お客様」および「お客様の」は注文書に記載されているクライアント組織を指します。当該製品/サービス規約に記載されていない他の規約はすべて、Clarivate 規約に準じます。当該製品/サービス規約は、本規約で特定されている Clarivate 製品に関する他の規約すべてに取って代わり、優先されるものとします。

IPOne 製品規約

1. 定義：

使用許諾データ： IPOne、MCP、API、データフィード、または関連インターフェースを通じて、Clarivate または Clarivate に代わって提供されるあらゆるデータ、コンテンツ、資料、その他の情報。

モデルコンテキストプロトコルまたは MCP： クライアントが使用許諾データを互換性のある AI ツール、モデル、プラットフォーム、またはエージェントに接続することを可能にするプロトコルまたはインターフェース。

トレーニング： モデルの重み、パラメータ、アーキテクチャ、埋め込み、または類似のモデルレベルの特性に対するあらゆる調整を含め、汎用モデル、基盤モデル、その他あらゆる基礎となるベースモデルを直接的または間接的に開発、トレーニング、事前トレーニング、ファインチューニング、再トレーニング、適応、またはその他の方法で改善すること。

入力： クライアントが Clarivate の管理するマシンベースのシステムに送信するデータ、プロンプト、テキスト、画像、決定事項、またはその他のコンテンツで、明示的または暗示的な目標のために、物理的または仮想的な環境に影響を与える可能性のある予測やコンテンツ（テキスト、画像、オーディオ、動画、データを含む）、推奨事項、または決定事項などの出力を生成する方法を受領した入力内容から推測するもの。

出力： 入力に対応して Clarivate の管理する AI ツールで生成されたコンテンツ。出力から表示可能、抽出可能、またはその他の方法で識別可能な範囲において、Clarivate IP および第三者資料は除外されます。

2. 許可された用途： 規約の期間中、クライアントは、IPOne を利用して、使用許諾データをエンタープライズ、非公開 AI ツール、モデル、プラットフォーム、エージェント、またはワークフロー（トレーニングでの使用許諾データの使用を防ぎ、クライアントの社内業務目的のみで使用許諾データのアクセス、保持、開示、再使用を制限するように設定されたもの）に接続することができます。このような使用は、Clarivate 規約または他の該当するマスター契約の対象となり、使用許諾データにおける、またはこれに対する所有権、使用許諾、その他の権利は付与されません（本書で明示的に付与されている限定的な権利は除きます）。

3. 知的財産： 当事者の間で、クライアントは、Clarivate IP または第三者の資料に対する Clarivate または第三者の既存の権利、派生的な権利、またはその他の権利に基づき、入力と出力に対するすべての権利を留保します。Clarivate IP または第三者の資料に対する所有権は、クライアントまたは第三者に譲渡されません。

4. 制限：

i) **非公開 AI ツール：** クライアントは、使用許諾データを、公共向け、消費者向け、またはエンタープライズ向けではない AI サービス、あるいはプロバイダーのアクセスや第三者の再使用、モデルのトレーニング、もしくはクライアントの許可環境外での開示を許可している AI 環境に対して入力、アップロード、送信、開示、またはその他の方法で利用可能にしてはなりません。

ii) **トレーニング禁止：** クライアントは、使用許諾データをトレーニング目的で使用してはならず、第三者が使用することも許可できません。誤解を避けるため、明確にしておく、上記の制限はクライアントが許可されているエンタープライズ AI 環境内でクライアントの社内業務目的で使用許諾データを使用することを禁止していません。この中には、検索支援型生成、基礎教育、プロンプトエンジニアリング、プロンプトの微調整、ランク付け、フィルタリング、ワークフローのオーケストレーション、またはその他のクライアント固有の設定、あるいはクライアントのインスタンスや実装の調整が含まれます。ただし、かかる使用が、使用許諾データを汎用モデル、基盤モデル、その他

あらゆる基礎となるベースモデル、またはクライアントの許可された環境を超えて利用可能となる共有モデルのトレーニングまたは改善に使用される結果とならないことを条件とします。

iii) **競合開発の禁止**： クライアントは、使用許諾データ、使用許諾データを含むか反映させた出力、または使用許諾データを利用する AI 環境を使って、製品やサービス、モデル、データベース、データセット、または使用許諾データもしくは Clarivate 製品やサービスと競合する、これらを複製する、またはこれらに置き換わる、または第三者が置き換えることのできるその他のものを開発、作成、強化、訓点、支援、あるいは商業化することはできません。

5. AI 環境の管理： クライアントは、本製品規約に準じた方法で使用許諾データを接続または利用する Clarivate 以外の AI 環境を使用・設定するものとします。この中には、使用許諾データの許可のない再使用や持続的な暴露または外部への暴露を防ぐよう意図された適切なアクセス管理、保持設定、技術的制限の維持が含まれます。クライアントは、(i) クライアントのためにのみ、本製品規約で明示的に許可されている目的のみにおいて、第三者プロバイダー、モデルホスト、実施担当パートナー、または請負業者に使用許諾データへのアクセス権が与えられていることを確認する責任を負うとともに、当該プロバイダー、モデルホスト、実施担当パートナー、請負業者、その他の第三者の作為および不作為について自らのものであるかのごとく責任を負うものとし、(ii) 許可のないアクセス、使用、開示、改変、損失に対して使用許諾データを保護するよう意図された商業的に妥当な事務、技術、および物理的な保護策を実装して維持しなければならない、(iii) 違法、侵害的、有害、または悪用目的で使用許諾データを使用してはならず、また使用許諾データに関連する所有権通知や属性を削除、隠蔽、または変更してはなりません。

6. データ量： API、データフィード、または MCP によるデータ取得は、サブスクリプションに基づく使用制限の対象となります。クライアントの使用許諾には、該当する注文書に別途記載されていない限り、指名された一 (1) 人のユーザーのログインが含まれます。インパクトの高いリクエストまたは大規模なユーザーベースのスループットを向上させるには、複数のログインが必要になる場合があります。Clarivate は、クライアントが該当する使用限度を超過した、技術的管理対策を迂回した、または使用許諾データをスクレイピングするか一括抽出した、あるいは使用許諾データの複製、置換、代用が可能な方法で IPOne を使用したと合理的に判断した場合は、ただちにアクセスを一時停止または制限することができます。

7. 属性： ユーザーが Clarivate のデータを引用または抜粋する場合、クライアントは「本書に含まれている特定のデータは Clarivate 社のものです。© Clarivate. 著作権所有」という通知を含める必要があります。

8. 使用データ： Clarivate は、クライアントの入力または出力をトレーニングで使用しません。ただし、Clarivate は弊社製品の使用に関する情報と統計を収集します。この使用データをトレーニング目的で使用することはありません。他の合法的な事業上の理由でこの情報を使用する場合があります。この中には、製品の運用、開発、試験、改善のほか、契約上の権利の保護と行使が含まれますが、これらに限定されません。

9. 有効期限満了または終了の影響： 使用許諾データに対するライセンスの満了または終了後、クライアントは AI ツール、モデル、プラットフォーム、エージェント、ワークフロー、インデックス、キャッシュ、ベクトルストア、メモリ、リポジトリ、またはその他の環境で使用許諾データのアクセスと使用すべてを直ちに中止し、恒久的に停止するものとします。クライアントは、使用許諾データを含まず、複製、開示、または再構築の許可を行わない出力を保持できます。その他の場合、クライアントはあらゆる使用許諾データとそのコピー、抽出物、具体化したものをすべて返却するか破棄するものとします。この中には、プロンプトや保持出力、インデックス、組み込み、キャッシュ、ベクトルストア、エージェントメモリ、またはその他の派生リポジトリに含まれているすべてのバージョンが含まれます。リクエストに応じて、クライアントは、権限のある役員が署名し、上記の完全な遵守を確認する証明書を書面で提供するものとします。

10. 存続： 制限、所有権、秘密保持、セキュリティ、属性、使用データ、一時停止、返却または破棄、認証、その他、本質的に存続すべきセクションは、満了や終了に関わらず存続します。

最終更新日：2026 年 7 月